

6 月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和5年6月23日（金）
開催時間	午前10時00分
開催場所	青少年センター 3階 集会室
出席委員	浦上 教育長 村本 教育長職務代理者 水野 委員 岩井 委員 藤井 委員
出席職員	原田副教育長・小山教育監・太田次長・木下次長・辻内次長兼生涯学習課長・川添教育政策課長・黒井学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・山本学務給食課長・打抜教育センター所長・谷桂青少年会館長・岸安中青少年会館長

【浦上教育長】 これより、6月定例教育委員会会議を開催します。まず、本日の会議録の署名委員に村本委員を指名しますので、よろしくお願いたします。

【浦上教育長】 次に、次第1、5月定例教育委員会会議録の承認について、審議いたします。ご異議ありませんか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 ご異議ないものと認めます。それでは、5月定例教育委員会会議録につきまして、承認と決しました。

【浦上教育長】 次に、次第2、教育長及び教育委員の報告に移ります。

まず、教育長報告ですが、お手元配付資料のとおりですので、ご確認ください。

5月 22日（月）	定例教育委員会
〃	八尾市PTA協議会会長会議
5月 23日（火）	学校訪問（竹渕小学校、龍華小学校）
〃	臨時文教常任委員協議会
5月 24日（水）	令和5年度 第4回行財政改革推進本部会議
5月 25日（木）	学校訪問（大正北小学校、永畑小学校、成法中学校）
5月 26日（金）	旭堂南龍氏の観劇会（北山本小学校）
〃	学校訪問（北山本小学校）
5月 29日（月）	学校訪問（南高安小学校、曙川南中学校、山本小学校、高美小学校）
〃	

5月30日(火)	学校訪問(南山本小学校、八尾中学校)
〃	八尾市教育研究会総会及び講演会(用和小学校)
5月31日(水)	令和5年度八尾市障がい児者問題協議会総会(きずな)
〃	青少年健全育成市民会議総会
〃	ひとくず上映会実行委員会設立総会(八尾市文化会館)
6月1日(木)	校長会(人事案件)
〃	学校訪問(亀井中学校)
6月2日(金)	部長会
6月4日(日)	永畑小学校運動会(来賓)
6月5日(月)	学校訪問(高安小中学校、桂小学校)
6月7日(水)	学校訪問(長池小学校)
〃	蛍の夕べ(曙川小学校)
6月8日(木)	高安悠画会アリオ八尾絵画展(アリオ八尾レッドコート)
6月10日(土)	八尾市医師会70周年記念式典(来賓・帝国ホテル)
6月13日(火)	6月市議会定例会本会議(第1日)
6月14日(水)	定例教育委員協議会
〃	車いすダンス講演会(久宝寺中学校)
6月15日(木)	6月市議会定例会本会議(第2日)
6月16日(金)	6月市議会定例会本会議(第3日)
6月20日(火)	6月市議会定例会本会議(第4日)
6月21日(水)	6月市議会定例会本会議(第5日)
6月22日(木)	6月市議会定例会本会議(第6日)
〃	桂中学校区地域教育協議会全体会(来賓)

【浦上教育長】 何点か皆様へ、報告させていただきます。

まず、5月22日に八尾市PTA協議会会長会議が行われました。この会議は、コロナ禍で3年間は書面開催という形を取っていました。この3年間は、一同に集まって会合を行うことができなかつたので、久しぶりに開催することができました。旧PTA役員の方々もコロナ禍で活動が非常にに行いづらかつたのですが、色々工夫をしながら、PTA活動にご尽力いただきました。

また、新たに会長や役員に就任された方々も、決意を新たにされておりましたので、教育委員会とも連携しながら、八尾の子どもたちのために、頑張っていきたいと思っております。

次に5月26日、旭堂南龍氏の観劇会がありました。旭堂南龍氏は講談師であり、北山本小学校ご出身です。北山本小学校は、小規模特認校であり、特色のあるプログラムづくりということで、旭堂南龍氏にお越しいただき、子どもたちへ講談をしていただきました。私もその場にいましたが、講談は非常に面白いものです。講談とは、何か話をして、その後どんな物語になっていくのか、頭の中で想像するものです。子どもたちは、講談の基本的なことを教えてもらいました。旭堂南龍氏のご友人にあたる落語家の桂さんという方が当日は同行されており、落語とはどのようなものかお話いただき、子どもたちも非常に楽しんで話を聞いておりました。子どもたちは、舞台の上にも上がり、講談の真似をするな

ど、非常に良いプログラムだったと思いました。

次に5月31日、「ひとくず上映会実行委員会」設立総会がありました。この「ひとくず」というタイトルは、実は「人のくず」という意味です。「人のくず」とは、主演男優の方が、小さいときから虐待を受けていたことに起因します。この方は、虐待を受けたことにより、犯罪に手を染めて、盗人になります。ある家へ侵入した際、小さな小学生の女の子に遭遇します。その子は1人で居て、1週間程はご飯も何も食べてない状況であり、そのような状況下で2人は出会いました。世間では、児童虐待とはどのようなものであるか推し量ることがありますが、私はこの映画を見て驚きました。これが本当の虐待かと感じる程のショッキングな部分も多くありましたが、教育委員の皆様・教育委員会事務局職員・学校の教職員にも見てほしい内容でした。今回は、実行委員会の設立式があり、市長・議長や私も挨拶をさせていただきました。実行委員会の皆様は、熱い思いでこの企画を実施されていますので、ぜひ皆様にも「ひとくず」の映画を見て欲しいと思います。男優の主演の方は、映画ではすごい迫力のある人です。私が来賓席に座っている隣の席に白い服を着た人が座り、誰だろうと想着いたら、その男優の方だったのです。舞台上とは、雰囲気の違い、誰かわかりませんでした。その俳優の方は、上西さんと言いますが、俳優は自分自身のことを普段は出さないものだと、おっしゃっていました。この方は、監督もしており、テレビにもよく出演しているすごい人です。上映会では、自分の生い立ちや、この映画を製作した理由などを紹介されていました。皆様にも、またご案内しますので、ぜひご覧になってください。

次に6月4日、永畑小学校の運動会がありました。永畑小学校と亀井小学校だけが今年度の春に運動会を実施します。永畑小学校は、本来は秋に運動会を実施する予定でしたが、秋に府美研という府の美術の研究大会が、永畑小学校で開催されるため、運動会と時期が重なってしまったこともあり、春の開催となりました。私も運動会に訪問させていただきましたが、ちょうど梅雨の合間の晴れの日で、本当に良かったです。晴れて、子どもたちも一生懸命頑張っていて、運動会に臨みました。非常に良い内容でした。

次に6月7日、「蛍の夕べ」です。これは、曙川小学校の伝統になりますが、ビオトープを校内に作り、その中で蛍を飼育しています。校長先生が蛍の夕べに招待してくれても、蛍がいつ飛ぶのかはわからない状況です。当日も蛍が飛ぶかわからない状況でしたが、その前日に1匹飛んだという連絡があったので、この日に訪問させていただきました。当日は、保護者も子どもも、たくさん参加されており、全員で800人程度参加されていました。これだけの人数が集まると事故等も発生するおそれもあるので、学校の先生や地域の方が、それぞれに受付や巡回コース案内などの役割分担をして、取り組んでいらっしゃいました。これは、学校だけの力ではなく、地域の方々の協力もあっての取り組みだと、よく分かりました。ビオトープで蛍を育てていらっしゃいますが、蛍が飛ばなかったら学校の先生は困り、子どもたちもかわいそうだと思います。地域の方々が「蛍の夕べ」の1週間前に奈良県まで行って、蛍を取りに行ったというエピソードがありました。このような取組は、今後も続いていくような曙川小学校区の伝統になっていると思います。

最後に6月22日、桂中学校区の地域教育協議会の全体会に出席しました。これは、20数年前から大阪府が、「すこやかネット」という学校を中心として家庭と地域をつなぐ組織を各中学校区で構成する組織体です。八尾市は、すぐにその内容に取り組んで、この桂

中学校区が八尾市として1番に地域教育協議会を作ってくださいました。私は桂中学校の校長経験もあるため、この活動には思い入れがあります。当時は、来賓として色々な挨拶をさせていただきましたが、この20数年間、このような活動を通じて、地域の子どものために頑張っている姿が、脈々と引き継がれていると感じ、感動しました。以上、長くなりましたが、私からの報告とさせていただきます。

【浦上教育長】 教育委員の皆様から、報告事項等はありませんか。

【村本委員】 5月22日、ホテルアウリーナ大阪で開催されました「令和5年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会」に水野委員・岩井委員・藤井委員と共に参加しました。一連の総会行事の後、大阪府教育庁市町村教育室長の榊田千佳先生の「大阪の教育」と題した講演がありました。義務教育のゴールは子どもに自信をつけること、未来への展望を持たせることとおっしゃっていたのが、印象的でした。

次に6月9日、桂中学校の1年生を対象に行われました「脱いじめ傍観者教育」を視察させていただきました。当該校は、小規模特認校であり、1年生は1クラス40名ですが、当日は2名欠席であったため、38名の出席でした。この行事を普通教室で行うには、少し手狭であったため、講堂にてリモートで行われました。生徒たちは、教室の外で、講堂の大きなスクリーンに映し出された画面を熱心に見ていて、思い出に残る良い授業になったと思います。

【浦上教育長】 他には、いかがでしょうか。

【岩井委員】 私も大阪府都市教育委員会連絡協議会に参加させていただいたのですが、大阪府教育庁市町村教育室長の榊田先生からのお話の中で、特に印象に残ったこととお話させていただきたいと思います。榊田先生は、大阪府の義務教育の15年を振り返りつつ、力を入れている取り組みについてお話してくださいました。その中で、府の学力向上施策の一つである「小学生すくすくウォッチテスト」の結果報告として、個人のシートである「ウォッチシート」というものがあるそうなのですが、そのシートを1人ずつ作成して、テストを受けた5・6年生全員に配布し、子ども・保護者・先生にもその子自身が持っている良さに気づいてもらう取り組みを特に大事にしているというお話を聞かせていただきました。「ウォッチシート」には、具体的にその子の良さを認める内容が書かれているので、各学校でそれをどのように活用しているのか、状況が私にはわかりませんが、府での取り組みをうまく活用して、八尾の子どものための課題でもある子どもたちの自信や自己肯定感の育成に繋げていって欲しいなと思いました。

次に5月29日、久宝寺小学校4年生の「脱いじめ傍観者教育」のオンライン授業の様子を見るために学校訪問させていただきました。子どもたちは、教材ビデオを真剣によく見て、選択肢を選んでいましたので、一層より良い方向に学級の雰囲気が変化していくことを期待しています。

また、今年度の脱いじめ傍観者教育の学校訪問は、私はこれで5校目になるのですが、ICTの活用は、「いつも・ちょっと・トラブルのICT」と言われるように、この授業

もオンライン実施のため、急に音声聞こえなくなる、また準備段階でパソコンとプロジェクターがうまく繋がらないなどのアクシデントもありました。しかし、どの学校においても、担任以外の先生、また教育委員会の人権教育課の職員の方が、必ず何名かは、応援部隊として見守って、待機してくださるという体制を取られていたので、とても安心できました。これからも、学校と教育委員会が互いにしっかりと連携を取りながら、授業の充実を図って欲しいなと思っています。

【浦上教育長】 他には、いかがでしょうか。

【水野委員】 5月22日の大阪府都市教育委員会連絡協議会について、榊田先生のお話の中で、印象に残ったことを少しお話します。「第2次大阪府教育振興基本計画」のキャリア教育について、これは今の学びが将来に繋がっているということですが、自己統制感や随伴性認知というように、人は現在行っていることが将来のキャリアに結びつくという確信がなければ、動機付けが高まりません。すくすくウォッチは、こういう話をどのようにして子どもに伝えていくのかを担っています。

もう1点はメタ認知についてです。これも心理学用語になりますが、何が苦手で何が得意かということをも自分自身で認識しているかを意味しています。これを意識することで、例えば疲れているときは得意な科目に取り組み、元気がある時は少し苦手な科目に取り組むという自立的な学習ができると思います。こういうことを今後の大阪府の教育においては、すごく大切にされていると思い、感銘を受けました。

【藤井委員】 私も5月20日の大阪府都市教育委員会連絡協議会に参加させていただき、榊田先生の話から色々学ばせていただきました。当日は、非認知能力のお話などもいただき、私も色々勉強をしなければならなかったと思いました。協議会の帰路に、他の委員の方々とも当日の振り返りの話をさせていただき、非常に勉強になりました。

【浦上教育長】 他に報告等ないでしょうか。ないようであれば、教育長及び教育委員の報告はこれで終わります。

次に、次第3、報告事項に移ります。

報告事項の①「いじめの重大事態事案への対応について」は、八尾市情報公開条例第6条第1号の個人に関する情報であって、当該個人の権利、利益を害するおそれがあるものに該当するため、公開可能な時期が来るまで非公開にて取り扱いたいと思いますが、ご異議ないでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 異議なしと認めます。それでは、本報告については、非公開と決定いたしました。議事の進行の都合上、この報告については、他の報告等が終了した後に行います。

また、その他報告事項として、教育センターから2点ほど追加報告させていただきます。

小山教育監と打抜所長は、前の席へお越してください。

【打抜教育センター所長】 教育センターが取り組みを進めている2点について、この場をお借りいたしましてご報告させていただきたいと思います。

まず、1点目については、プログラミング教育の推進です。八尾市においては、ものづくりの街ということで、地域の力を活用しながらプログラミング教育の取り組みを進めています。その中の一つとして、現在、プログラミング的思考を用いた防災教育の取り組みを進めています。プログラミングという言葉を知ると、児童生徒用端末などのパソコンを使用することをイメージされることが多いかと思いますが、このプログラミング的思考とは、順序立てて考えるというプログラミング特有の思考を生かしての取り組みです。

具体的には、児童生徒が、災害発生時、特に今回は地震を想定した取り組みを進めていますが、地震発生時に、まず自分自身の命を守るためにどのような行動を取ればいいのかということ、カードで順番に、安全な行動について考えていくという取り組みを進めているところです。今は試行段階のため、市内1つの小学校において、先行実施として取り組みを進めています。また、公開授業を7月10日に実施し、実際の取り組みを見学した上で、さらに市内各校に取り組みを進めていきたいと考えています。以上が、プログラミング教育の取り組みについてです。

次に2点目は、不登校児童生徒等の支援です。こちらは、教育委員会としても、これまでも更なる一層の取り組みを進めてきたところです。教育センターにおいて、昨年度の10月からオンラインを活用した学習支援を行ってきましたが、さらに充実したものにするため、今年度の6月議会の補正予算に予算計上しているところです。こちらでは、バーチャル空間を活用し、オンライン上でのコミュニケーションを通じて、子どもの居場所を作っていこうと考えています。二次元の場所にはなりますが、そのバーチャル空間に子どもたちが、小さな動物のアバターになって、ニックネーム等でバーチャル空間に参加することによって、子どもたちができるだけコミュニケーションに対する負担を減らして、気軽に参加できるような取り組みを今後進めていきたいと考えています。

以上2点の報告となります。

【浦上教育長】 何かご意見等ないでしょうか。

【水野委員】 不登校の子どもたちがアバターで参加することは、すごい可能性を秘めた内容だと思います。1点確認ですが、バーチャル空間へは自宅から参加可能でしょうか。

【打抜教育センター所長】 教育センターを拠点として、各家庭とオンラインで繋がり、教育センターからURLとパスワードを送ることで、対象となる子どもたちがバーチャル空間へ参加できるという体制です。つまり、子どもたちは各家庭等から参加することが可能です。

【浦上教育長】 他にご意見等ないでしょうか。

【藤井委員】 オンラインを活用した学習支援へ参加できる基準はあるのでしょうか。また、参加対象となる子どもたちに対しては、各学校を通じて各家庭へ案内されるのでしょうか。

【打抜教育センター所長】 まず、対象の子どもたちですが、想定しているのは、外出しづらく長期的な不登校の状況が続いている、または病気等で学校に登校しづらい子どもたちです。具体的な欠席日数が何日と決まっていますが、そういった子どもたちを想定しながら、ニーズがあれば、教育センターの方でも相談を行いながら、参加できるような体制づくりを進めていけたらと考えています。

【浦上教育長】 他にご意見等ないでしょうか。ないようであれば、私から一言申し上げます。2点追加報告をしましたが、現時点では試行的に進めている段階です。そのため、本格実施は9月頃になるかと思しますので、そのようにご認識いただければと思います。事務局において、このような取り組みを進めていることを教育委員の皆様にお伝えしたいと思い、本日追加報告させていただきました。小山教育監と打抜教育センター所長は自席へお戻りください。

それでは、公開による審議はすべて終了しました。傍聴の皆様は、ご退場ください。議事の都合により、暫時休憩とします。再開は、2分後とします。

(傍聴者 退室)

(以下、非公開報告)